

特定外来生物

クビアカツヤカミキリ

から千代田のさくらを守りましょう！

近年、「ヒアリ」、「セアカゴケグモ」などといった特定外来生物についてのニュースに接する機会が非常に増えていきます。これらの害虫と比較すると、「クビアカツヤカミキリ」は、人体への直接的な危険がないことから、あまり知られていません。しかし、サクラの木に寄生して大きな被害を与えることから、十分な注意が必要です。

■ 特定外来生物とは？

国外から持ち込まれた生物で、生態系や人の健康、農林水産物に被害を与える生物を、法律で「特定外来生物」として指定しています。特定外来生物は、飼ったり、生きたまま運んだり、野外に逃がしたり、輸入・販売したりすることが禁止されています。

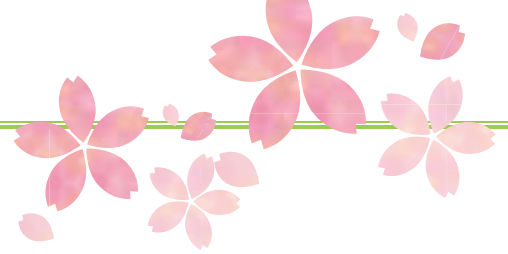
■ 「クビアカツヤカミキリ」ってどんな虫？

成虫は体長 2.5 ～ 4cm 程度、全体的に光沢のある黒色で、胸部（クビの部分）が赤いのが特徴です。幼虫がサクラ、ウメ、モモ、スモモなどの樹木に寄生し、木の内部を食い荒らしてしまう恐ろしい外来昆虫です。

原産地は中国、朝鮮半島、ベトナム北部などで、貨物などの物資にまぎれて日本に侵入したと考えられており、平成 30 年 1 月に、環境省より「特定外来生物」に指定されました。

■ 日本国内での状況は？

平成 24 年に愛知県で被害が確認されて以来拡大し、その後、栃木県、群馬県、埼玉県などでも被害が確認されています。多摩地域では、平成 27 年に初めてサクラで発生が確認され警戒していま



したが、今回ウメの被害の報告を受け、被害の拡大がにわかに懸念されています。

■どんな被害があるの？

幼虫が樹木に寄生し、幹や枝の内部を食い荒らし、時に枯死させてしまう害虫です。食害が進むと、枝が落ちたり木が倒れたりして、人が怪我をする恐れが出てきます。

さらに被害が大きくなると、お花見ができなくなる、果樹園の果実が実らなくなるなどの深刻な事態につながりかねません。場合によっては、被害の拡大を防ぐために、枯れていなくても木を伐採しなくてはならないこともあります。そうした事態を避けるため、早期発見、早期防除が必要になるのです。

■被害の確認の方法

クビアカツヤカミキリの幼虫が幹や枝に侵入すると、根元に大量のフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもので褐色のかりんとう状の比較的硬い物体）がばらまかれて溜まります。フラスがあれば、その樹体内に幼虫がいることがわかります。

■フラスを発見した場合には……

千代田区環境政策課、もしくは環境省関東地方環境事務所にご連絡ください。

クビアカツヤカミキリは、非常に繁殖力が強いと言われています。千代田区内で被害が発生することがないように、早期発見にご協力をお願いします。



▲幼虫に食害された樹木の断面



▲サクラの根元に散乱したフラス



▶フラス

**発見した場合、
ご連絡いただく
ことは……**

- ▶発見日時
- ▶発見場所（できるだけ具体的に）
- ▶発見時の状況
- ▶可能であれば、写真の撮影

ご連絡・お問い合わせは…

千代田区環境政策課
03-3264-2111
環境省関東地方環境事務所
048-600-0817